



～ お城博士による苗木城講演会 ～

校長 小木曾敏樹

10月27日(月)に、テレビなどで「お城博士ちゃん」として活躍していらっしゃる高校1年生、栗原響大(くりはらひびき)さんを苗木中学校にお招きし、苗木城について講演をしていただきました。苗木城は築城500年を迎えます。そのイベントとして、苗木中学校と苗木まちづくり推進協議会の共催で開催しました。

小学校1年生でお城の魅力にはまって以来、高校1年生の現在までに400以上のお城を巡っている栗原さん。苗木城はもちろん、落合や馬籠、そして阿木など、中津川市民でもお城があったことなど知らない人の方が多いと思われる城跡も、すでに訪問されていました。その一つ一つがしっかり頭の中にインプットされていて、さらに武将や歴史、建築や石積み、お堀に至るまで、広く深い知識を蓄積されていて、さすが「博士」と呼ばれるだけある、スーパー高校生でした。

クイズ形式で、生徒たちに考えさせ、生徒参加型の講演会にするなど、話も上手で、話題もとても面白く、聞きいってしまいました。苗木にある素晴らしい魅力いっぱいの苗木城、何も知らずにいるのはもったいないという栗原さんの言葉のとおり、苗木城の魅力を教えていただいたら、「確かに、もったいない」と思いました。40分間という短い時間でしたが、自分たちのふるさと苗木にある苗木城を誇りに思える、とても大切な時間をいただいたように思います。

中3にとっては一つ年上のお兄さん。でも、その知識量、落ち着き、人間性、talk力・・・、1歳違いとは思えない存在感が大きな刺激になったのではないかと思います。いろんなイベントやテレビ番組などの出演で、きっとまたお会いすることもあるでしょう。将来は、歴史研究家として、きっともっと有名になることでしょう。今日の日の出会いをしっかりと覚えておきたいですね。

「お城の知識は、やはり一生懸命勉強をされるのですか？」と聞いてみました。すると、「他の勉強は一生懸命やらないといけないのですが、好きなこと、興味のあることは、自然に入ってしまうので、苦労して覚えるわけではありません。」と教えてくれました。好きになる、興味をもつ、一つのことに集中する、とことんやる・・・。努力や根性も大切だけれども、栗原さんが言った「好きになる」「興味をもつ」ことが、とっても大切なんだろうなと思いました。受験や成績のための勉強じゃなく、興味をもって楽しく追究していく、そんな勉強をしていけたらいいですね。

講演終了後、栗原さんのリクエストで、全校生徒と記念写真。最後は「お城ポーズ」でいい写真が撮れました。



「合唱祭」への取組がスタート

10月23日（木）に、「合唱祭」への取組をスタートする学級活動が行われ、この日から合唱強化期間に入りました。とはいっても、構えをつくり準備をすすめていく、心の準備期間みたいなもので、合唱練習はこれまで通りに帰りの会と授業で行い、特別なことはありません。11月13日（木）から11月28日（金）の間の本番までの2週間が、本当の強化期間になり、6時間目は合唱練習になります。

今年もアートピア付知交芸プラザをお借りして、福岡地区のスクールバスを利用させていただき、苗木中「合唱祭」を行います。昨年は給食までに帰らなきゃ・・・というのでバタバタ。片付けは先生たち数人が残って給食も食べずにやっていましたが、今年ははじめから給食をカットし、付知でお弁当を食べて、振り返りの学活までその場でやってから苗木に帰ってきます。アートピア付知2年目は、全校合唱を1曲追加して2曲、そして、ダンス動画の上映、もちろん生ダンスも行う予定です。

ある方が言っていました。「10月9日に行った苗木中の体育大会は、他校とは全く違いますね。他校は競技だけだけれど、苗木中はダンスに、ソーランに、全員写真まであって、見ていて楽しいし、生徒たちの生の表情がとっても近く感じる。」

来てくださった保護者や来賓の皆さんを喜ばせたいという、そんな特別な意図は全くありません。生徒たちがやりたいと思うことを尊重して、成長につながることを優先して考えているだけです。

11月28日（金）の合唱祭もきっと同じような感想を話されるでしょう。全校合唱＋1曲、ダンス動画に、生ダンス。バスを使って往復1時間ちょっとの道のり。弁当持ち。現地で振り返りの学級活動。他校の合唱祭とは全く違うものになっているかもしれません。

昨年、合唱祭なのにダンスはおかしいのでは？と職員の中で論議をしました。最終的には、合唱もダンスも表現活動。その区切りを作っているのは自分たちであって、生徒たちにとってはその区切りはないのではないかと・・・。だから、生徒たちがやりたいならやりましょうと。

ある方がおっしゃっていました。あの校長のことだから、卒業式でもダンスするんじゃないかと思って楽しみにしていたのに・・・。ダンスがメインではありません。生徒たちの主体的創造や表現活動、そして、その結果得られる大きな感動。それがメインです。それが「変な学校」です。

